

Ⅲ. 地域づくり支援の研究

平成30年度厚生労働科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）
分担研究報告書

「健康とくらしの調査」に向けた保険者共同研究会実施報告について

研究分担者 齊藤 雅茂（日本福祉大学 社会福祉学部 准教授）

研究要旨

地域づくりによる介護予防アプローチへと政策がシフトしている中で、地域づくりによる介護予防の必要性・有用性への保険者の理解、また、その評価を行う一般介護予防事業評価の実施の意義が高まっている。本研究では、日本老年学的評価研究プロジェクトに参加する保険者を対象に、共同研究会を実施し、先進自治体の取り組みなどを通じた情報の共有を行い、地域づくりによる介護予防及びその評価・モニタリング手法について共有を行うことを目的とした。2018年5月9日（水）、11日（金）の2日間で、「健康くらしの調査」保険者共同研究会を、43保険者75名の担当者を対象に実施した。研究会の内容としては、介護保険を巡る政策動向（保険者機能強化推進交付金を中心に）、政策・事業評価（一般介護予防事業評価事業）、地域マネジメント支援システム及び調査データの活用事例とその展開、JAGES最新論文紹介・対策の手がかり、健康とくらしの調査（JAGES2019年調査）に向けた説明、そしてそれぞれの内容について、グループワークおよびディスカッションを行なった。共同研究会研究会終了後、参加者に対してアンケート調査を実施し、69名から回答を得た（回収率92.0%）。共同研究会全体の満足度として、十分満足できた48.5%（33名）、まあ満足できた50.0%（34名）という結果であった。地域づくりによる介護予防の必要性・有用性、事業評価等に共同研究会で共有でき98%以上の満足度（十分満足・まあ満足）は得られた。得られた意見を参考に今後検討していくことが課題である。

A. 研究目的

本研究班では、介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進める手法と支援システムの利用市町村を増やし、強固な根拠づくりと普及に向けた開発研究を行うことを目的としていた。そのうち、本研究では、分担研究として、日本老年学的評価研究プロジェクトに参加する保険者による共同研究会を実施・組織化し、一般介護予防事業の推進に寄与しうる最新の学術研究の紹介や先進的な地域実践の共有や、データに基づいた地域づくりによる介護予防事業の具体的な進め方の共有などを図った。

本稿では、当該研究会の実施プログラムとともに、参加者アンケートに基づいて本プログラ

ムの良かった点や改善点、介護保険者の担当者からみた意見、改善点等を整理した。

B. 研究方法

自治体共同研究会は、2018年5月9日（水）および5月11日（金）に、JAGESプロジェクトによる「健康くらしの調査」に参加した43保険者75名の担当者を対象にして実施した。なお、自治体職員の参加しやすさを考慮し、本研究会はそれぞれ東京と愛知（名古屋）で開催した。

共同研究会は、概ね6時間で構成し、介護保険・介護予防に関する政策動向、一般介護予防事業の推進に寄与しうる最新の学術研究の紹介、地域マネジメント支援システム及び調査データ

の活用事例の共有、次期のニーズ調査にむけたスケジュール確認、総合討論を含めた内容にしている（表1）。なお、他自治体との情報交換に対するニーズに対応するために、講義形式だけでなく、グループワークの時間を取り入れるように構成している（資料1）。

共同研究会終了後に質問紙調査（自記式）を配布し、69名から回答を得た（回収率92.0%）。項目には下記の11項目である。

- ▶ 参加者の職種
- ▶ 共同研究会全体の満足度
- ▶ 保険者機能強化推進交付金
- ▶ グループワーク（保険者機能強化推進交付金について意見交換）
- ▶ 最新の研究成果紹介
- ▶ 地域マネジメント支援システムの活用事例
- ▶ 地域マネジメントシステムの展開
- ▶ グループワーク（新たな研究視点や、地域マネジメント支援システムの改善要望）
- ▶ 調査実施に向けたスケジュール等確認
- ▶ 調査実施に向けた意見交換
- ▶ その他、ご意見・ご感想、改善点等（倫理面への配慮）

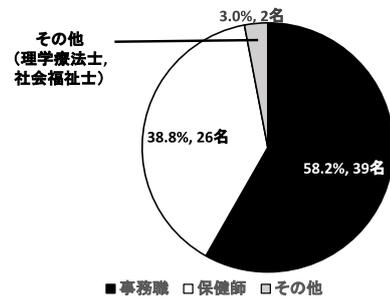
本調査は無記名で行われ、回答者個人を特定する情報は収集していない。対象者には、事前に目的を説明した上で、回答をもって同意が得られたものと判断した。

C. 研究結果

1) 参加者の職種について

「事務職」が58.2%（39名）、「保健師」が38.8%（26名）、「その他（理学療法士、社会福祉士）」が3%（2名）であり、事務職が最も多かった。

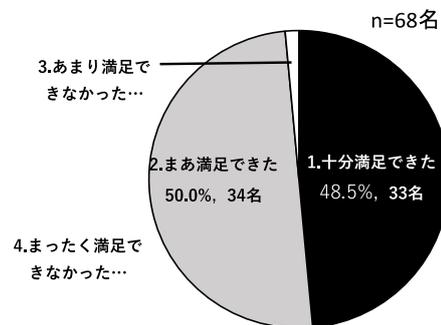
参加者の職種 （現在の仕事に一番関連のあるもの）



2) 共同研究会全体の満足度について

本研究会に対して「十分満足できた」が48.5%（33名）、「まあ満足できた」が50.0%（34名）、「あまり満足できなかった」が1.5%（1名）であり、98.5%（67名）が「満足できた」と回答していた。

共同研究会全体の満足度について



（自由記述）

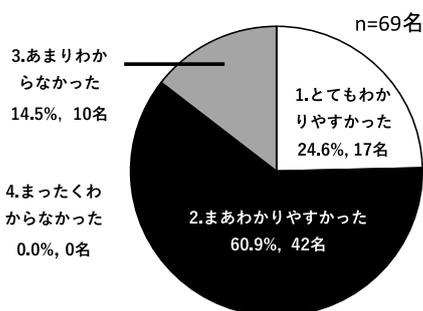
- 様々な事例を知ることができ参考になった、色々な自治体と情報交換でき勉強になった。
- これまでの取り組みと今後の方向性についてよく理解でき、全体像がわかった。
- 事業評価について、「健康とくらしの調査」の活用の仕方を考察できた。他都市の状況や、今後の調査について詳しく知ることができた。調査の概要や活用方法のイメージがより具体例に理解出来ました。
- 2019年調査に参加したいので、JAGESの研究内容・主旨がわかりました。

- JAGESのデータを用いることで（参加できるかは別として）地域の課題や評価できる点など、色んな指標が得られることが分かった。
- 今年度からJAGESの担当となり、知らなかった知識の穴埋めができました。
- 課題を把握したと考えているため、活用したいと思いました。
- 項目をクリアするために今協議している。事前にタイムテーブルを提供いただきたい。全体的には意見の目的がわかりました。各論としてはわかりづらかったです。
- 異動したばかりなので、内容がある程度わかりました。4月から包括になったので、話が理解できないことがあった。1年目なので、また内容がよくわからず、難しかったです。

3) 保険者機能強化推進交付金について

今回の共同研究会で扱った保険者機能強化推進交付金の制度解説については、「とてもわかりやすかった」が24.6%（17名）、「まあわかりやすかった」が60.9%（42名）、「あまりわからなかった」が14.5%（10名）となっていた。こちらも概ね良好な評価が得られたといえる。

保険者機能強化推進交付金について



（自由記述）

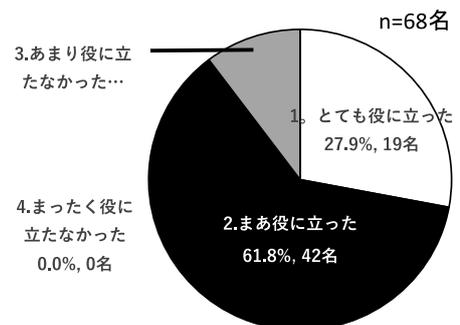
- 例としていくつか取り上げてもらったので、交付金の特性などについてとてもわかりやすかった。
- 同じ人口規模で集めてもらったので、話や

すかったです。

- JAGESを利用できるところと出来ないところを示してもらいわかりやすかった。
- 自治体内（部内）で昨年から情報収集し、指標について話し合っていたため、インセンティブ交付金の仕組みの自体として理解していました。
- そもそも交付金について知識が不足していたので、また資料を読み込みます。
- インセンティブ交付金自治体、国からの調査依頼がきていないため、まだ見えない部分がある。
- 特別会計のほうも聞きたかった。
- もう少し説明時間や質問時間があるとよかった。
- 公表される内容について知りたかったです。
- JAGESのシステムを用いて、「この指標にはこの機能を使用する」といったマニュアル的なものが示されると大変助かります。
- JAGESを活用する場合の具体的なイメージができなかった。

また、「保険者機能強化推進交付金」にむけた各自治体の進捗状況について、自治体間で情報交換を行ったところ、「とても役に立った」が27.9%（19名）、「まあ役に立った」が61.8%（42名）、「あまり役に立たなかった」が10.3%（7名）という評価が得られた。

グループワーク（保険者機能強化推進交付金について意見交換）



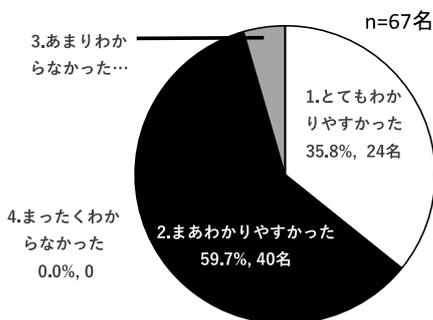
(自由記述)

- それぞれの保険者の抱える課題が聞けたことは大変良かった。やや制度がはじめてで、データに基づいた説明はやはり説得力がありますね、そのためのデータが我々も必要です。グループワークの題目を事前に伝えていただきたい。交付金に関する意見交換ではなく、調査に関する市間の意見交換となったためです。
- 他市の状況を確認できたグループ内の方もあまりわかっていない人が多かった。情報共有できてよかった。直接担当していない方も多かったので具体の事項を二人で話できなかった。歴に、調査(2016年)に参加されている自治体の感想を伺うことができました。

4) 最新の研究成果紹介について

一般介護予防事業の推進に寄与しうる最新の学術研究の紹介に関しては、「とてもわかりやすかった」が35.5% (24名)、「まあわかりやすかった」が59.7% (40名)、「あまりわからなかった」が4.0% (3名)と、95.2% (64名)が「わかりやすかった」という評価が得られた。

最新の研究成果紹介について



(自由記述)

- グラフや表で示されていてわかりやすかった。具体的で参考になりました。常滑市は近いので助かります。データがあると説得力が違うと感じた。人口規模の大きい自治

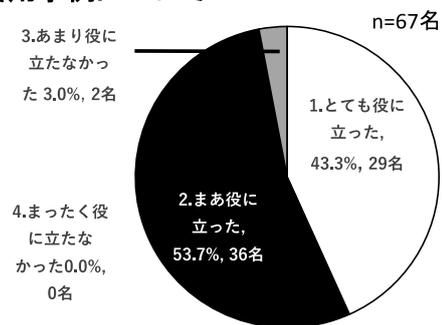
体での取り組みがもう少しあればと思います。

- これまでの成果についてわかった。日本語なので、教室で活用したいです。是非本市でも研究者の支援を頂きながら予防事業を展開していきたい。ピックアップして頂いたので「読めばわかる」状態で大変ありがたいです。

5) 地域マネジメント支援システムの活用事例について

「地域マネジメント支援システムの活用事例」を紹介した部分については、「とても役に立った」が43.3% (29名)、「まあ役に立った」が53.7% (36名)、「あまり役に立たなかった」が3.0% (2名)という結果であった。

地域マネジメント支援システムの活用事例について



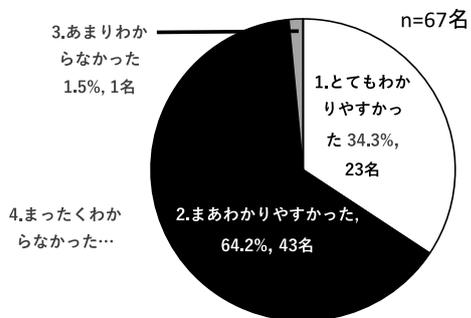
(自由記述)

- イメージすること実際の評価することは違うとおもいました。実際の評価として積極的に取り入れたい。データの活用方法がよくわかりました。見える化のデータについては活用方法がわからなかったのですが、常滑市さんの利用をお伺いして、今後の協議体などの利用をしていきたいと、参考になりました。地域マネジメントは重要ですね。使い方がわかり、使用の流れやどのように見ていくのか(問題点の抽出)が理解できた。
- グループワークにて、他自治の抱える問題

を共有・考察できた。具体的なものも多かった、参考にします。気になる結果を指名s田部分について、包括支援センターや地域でのワークショップをとおじて気づきをえるという手法を学べた。調査は手段に過ぎないので、アクションを起こすための根拠やターゲットの明確化であると感が得ます。地域の実情が把握できたら、どうすれば課題が解決できるか、いただいた示唆に基づいて次一体が仮設を立てる方をいかにつけるかが重要だと思えます。

上記の先進事例に加えて、展開プロセスを取り上げた部分に関しては、「とてもわかりやすかった」が34.3% (23名)、「まあわかりやすかった」が64.2% (43名)、「あまりわからなかった」が1.5% (1名)であった。

地域マネジメントシステムの展開について

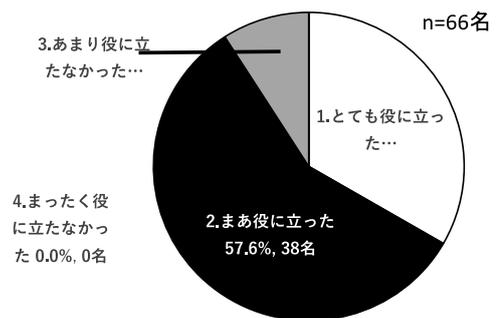


(自由記述)

- 防災、スポーツは理解できました。
- 防犯・環境なども絡めたデータがあるとよいと思います。当該にお勧めの事業とかを目働きで示していただくと助かります。
- 構想は理解したが、具体的な展開は今後であると感じた。
- 介護予防は地域づくりからとすると、市役のほとんどの部署が絡んでくるが、子供は絡みますか？所得から見た地域のつながりの強弱などを知りたい。

以上について、グループワークを通じて自治体間で意見交換等を行ったところ、「とても役に立った」が33.0% (22名)、「まあ役に立った」が57.6% (38名)、「あまり役に立たなかった」が9.0% (6名)という評価が得られた。

グループワーク(新たな研究視点や、地域マネジメント支援システムの改善要望)について



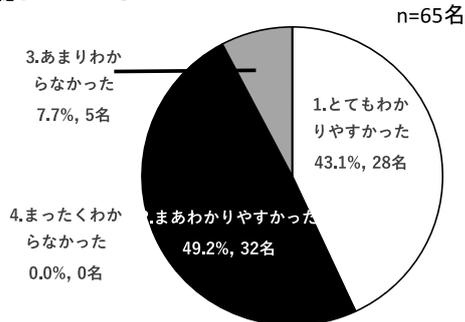
(自由記述)

- 他の市町村の方の意見が聞いて参考になった。
- 仕事業との関連について話のできたので、別の分解でもJAGESの結果を活用したい。
- 交換内容に交付金ではなかったが、他市の取り組みがわかって良い勉強になった。
- もう少しJAGESからの話が聞きたかった。
- 内容を把握できていないが多かった。
- 人それぞれに価値感が異なるため、それぞれに適したもの(場)を作ることが必要であり、また、新たなことばかりに目を向けるのではなく、今あるものをより活用することも大事である。

6) 調査実施に向けたスケジュール等の確認について

次期のニーズ調査にむけたスケジュール確認については、「とてもわかりやすかった」が43.1% (28名)、「まあわかりやすかった」が49.2% (32名)、「あまりわからなかった」が7.7% (5名)であった。

調査実施に向けたスケジュール等の確認について

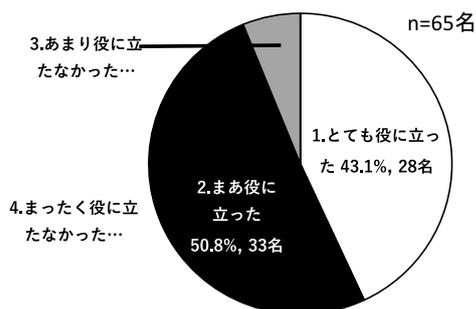


(自由記述)

- 年度ごとスケジュールがわかりやすかった。
- 利用出来る補助金の説明があり、とても参考になった。
- この時間をもう少し長くするべきと思った。

同じく、ニーズ調査実施にむけた各自治体の意見交換を行ったところ、「とても役に立った」が43.1% (28名)、「まあ役に立った」が50.8% (33名)、「あまり役に立たなかった」が6.0% (4名)であった。

調査実施に向けた意見交換について



(自由記述)

- 疑問点が多くあったので、とてもよかった。説明でわからない部分が少し理解出来ました。
- 全体的に同じような疑問があり、色々な回答を聞いた。予算のことなど持ち帰り、相談したい。

- すでに導入されている自治体の意見を聞けたので、勉強になった。
- 財源の念出、契約方法などの話が参考になりました。

7) その他の意見・感想

その他、本共同研究会に対して寄せられた意見・感想等は下記の通りである。

- 広域連合のため、直接の保険者ではない性質上、「健康と暮らし」の調査に対する真剣味が薄いと反省した。見えるかシステムを活用し、住民説明会などに積極的に活用していきたい。
- 2019調査に関する説明を聞きに伺った。JAGESデータの活用は、正直計画策定時には多少するが、日々の業務に生かすことができていない。
- 地区別の状況など、もう少し見なくてはと思いなおしている。このような機会があると、他市町村の状況をお伺いでき、参考になる。総合事業の評価に、次回調査をどう活用化していくか、今後考えていきたい。
- 共同研究会の内容を事前の案内等で教えてほしかった。旅費の事務の関係でお弁当が出るのなら教えていただくとありがたい。
- 研究費は、ぜひ委託料に含めていただきたい。内容が少しずつ分かっていた。今後メールなどで色々お尋ねしたい。他市の方々から、アドバイスを頂け大変勉強になった。また、意見交換を全体で行えて有意義だった。

D. 考 察

本研究では、地域づくりによる介護予防を推進するために、日本老年学評価研究プロジェクトに参加する保険者担当者を対象にして、共同研究会を実施した。共同研究会を通じて、一般介護予防事業の先進事例、またその評価事業の共有が図られたといえる。全体の満足度は

表 1. 共同研究会の内容別評価結果一覧

	とても分かりやすかった ／とても役に立った(%)	分かりやすかった ／役に立った(%)
保険者機能強化推進交付金の説明	24.6%	85.5%
グループワーク	27.9%	89.7%
研究成果の紹介	35.8%	95.5%
地域マネジメント支援システムの活用事例の紹介	43.3%	97.0%
地域マネジメント支援システムの展開方法の紹介	34.3%	98.5%
グループワーク	33.0%	90.6%
ニーズ調査に関する説明	43.1%	92.3%
グループワーク	43.1%	93.9%

98.5%と、非常に高い評価を得ることができた(資料2)。内容別にみると、「地域マネジメント支援システムの活用事例の紹介」と「ニーズ調査に関する説明」は相対的にみて高い満足度が得られていた(表1)。そのほかに、学術論文で得られた知見を分かりやすくスライドにまとめた形で提供することも非常に高い評価が得られていた。加えて、研究者からの一方的な情報提供だけでなく、グループワークの方の評価は同程度もしくはより高い評価が得られていた。自治体職員を対象にした組織化を図る際に、制度の説明だけでなく、学術的なエビデンスも提示すること、さらに、一方的な情報提供だけでな

くグループワークを取り入れることの有用性を示唆するものと考えられる。他方で、自由記述で確認できるように、共同研究会の内容や、地域づくりによる介護予防を推進するためにさらに必要な改善点などの意見も出されていた。今後の運営に際しては、指摘された改善点を可能な限りで反映していく必要がある。

E. 研究発表

とくになし

F. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

とくになし

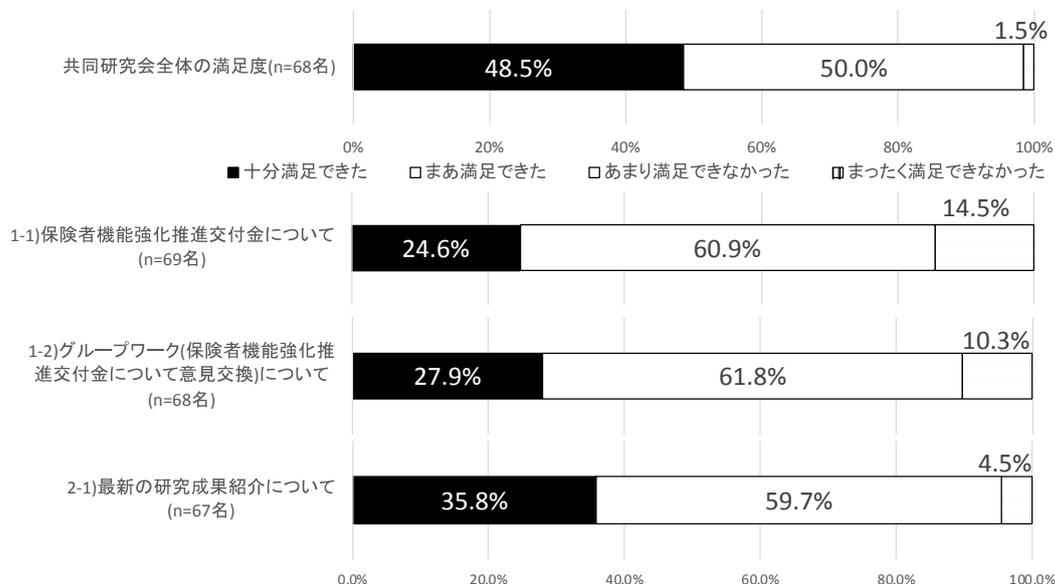
【資料1：保険者共同研究会タイムテーブル】

2018年度保険者共同研究会 タイムテーブル	
名古屋開催	日時：2018年5月9日（水）10時30分～16時00分 場所：日本福祉大学名古屋キャンパス北館8階
東京開催	日時：2018年5月11日（金）10時30分～16時00分 場所：東京大学 本郷キャンパス 医学図書館3階 333会議室
【内容】	（以下、敬称略）
10:30～10:45	オリエンテーション（本研究会の位置づけ・JAGESの紹介）
第一部	介護保険を巡る政策動向
10:45～11:15	保険者機能強化推進交付金について
11:15～11:45	グループワーク（自己紹介、保険者機能強化推進交付金について意見交換）
11:45～12:00	総合討論（グループワークの意見交換を全体に共有）
12:00～13:00	昼食休憩
第二部	政策・事業評価について（地域マネジメント支援システム紹介・JAGES最新論文紹介）
13:00～14:00	地域マネジメント支援システム及び調査データの活用事例とその展開
14:00～14:15	JAGES最新論文紹介：対策の手がかり（プレスリリースより）
14:20～14:50	グループワーク（新たな研究の視点や、地域マネジメント支援システムの改善要望）
14:50～15:00	休憩
第三部	<JAGES2019年調査に向けて>
15:00～15:40	調査実施に向けたスケジュール等確認（研究協定・契約・ご提供いただくデータの種類等）
15:40～16:00	総合討論（調査実施にむけた意見交換）
	アンケート記入後終了
	相談会・懇親会について
16:20～17:00	相談会（同会場で個別の相談会を実施。個別に質問がある方は相談会にお越しください）
17:15～19:15	懇親会（懇親会会場に移動し保険者・研究者との交流会）

【資料2：アンケート結果】

2018年度
JAGES「健康くらしの調査」保険者共同研究会 アンケート集計結果(回収92.0%)

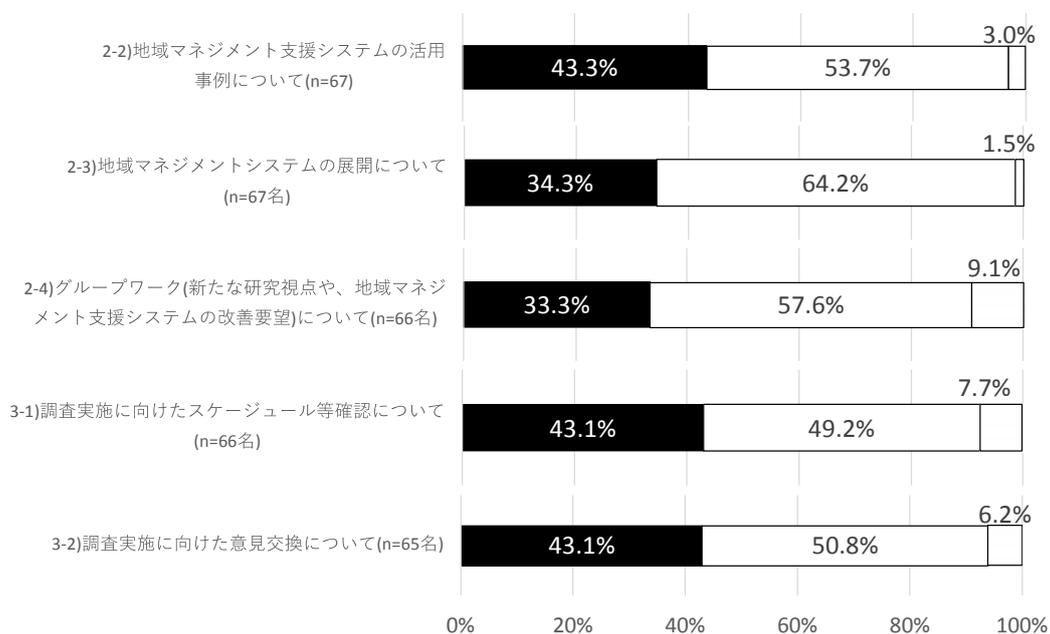
5月9日(水) 於 日本福祉大学 5月11日(金) 於 東京大学



- とても役に立ちました(とてもわかりやすかった) まあ役に立ちました(まあわかりやすかった)
 あまり役に立たなかった(あまりわからなかった) まったく役に立たなかった(まったくわからなかった)

2018年度
JAGES「健康くらしの調査」保険者共同研究会 アンケート集計結果(回収92.0%)

5月9日(水) 於 日本福祉大学 5月11日(金) 於 東京大学



- とても役に立ちました(とてもわかりやすかった) まあ役に立ちました(まあわかりやすかった)
 あまり役に立たなかった(あまりわからなかった) まったく役に立たなかった(まったくわからなかった)